

物の見方・考え方

私のものの見方、考え方を反映したレポート

最近のレポート

- ・天邪鬼
- ・人の評価
- ・リーダーとは
- ・ウィキペディアを盲信しないで
- ・パラリンピック、オリンピックにしたら
- ・リーダーシップってなに？

〔例・天邪鬼（あまのじゃく）〕

父のクリーニング以外の弟子と称する人が何人かおられました。中でも、戦後の大岡山工業高校（後の大岡山工業大学）での教え子が一番古いのではないのでしょうか。

その一人に島村さんという方がおられました。東京・山谷の出身で親がそこでドヤ（安宿のこと）を営んでいると云う変わり種で、俗に云うチャキチャキの江戸っ子悪く云えばガラッパチです。

通産省工業技術試所の技官でこの当時、硬質プラスチックを専門にされていたのではないかと記憶しています。

その島村さんが、何かの折りにお酒が入った席で、次のような話をしてくれました。

「あなたのお父さんに教えられるとな、ほんとに素直にものが見られるようになる」
「ただし、世間の物差しで測ったものと一寸違うらしいので、それだけは注意しておいた方がいいよ」。「どうも、俺や先生が納得している話になると世間の奴らは、首を傾げやがる」

「例えば、あるメーカーがプラスチックのバケツを作って『市販品として出したいのでテストしてくれ』『丈夫さには社内テストの結果、自信がある』と云って商品と各種テストデータ（水をいっぱい入れて振り回しても壊れないとか、砂を入れても同様の丈夫さがあるとか）を持ってくる」。

「俺がね、その空のバケツを蹴飛ばして壁にぶつけると、簡単に角に穴が開くのを『ほら、こわれたからダメ』と言う。言われた相手はいろいろ器具を使ってテストしてくれるものと思っているから『先生そんなテスト・・・』と言って詰まってしまう」。

「だから言ってやるの『例えば水のいっぱい入ったバケツ振り回す人どこにいるの、重いものを運んで、やれやれ済んだと思ってバケツを放っぼるの、この時、ものは壊れるの、使うのは人間でしょ』。こう云うテストをしないでどんなテストをするの」

「人間が使うものは、その状況（心理）を考えてテストをしないと」。



・・・以下略・・・

毛利レポート（研究報告レポート）

最近のレポート

- ・ワイシャツのクリーニングテスト第5回中間報告
- ・抗ウイルス加工剤
- ・商品在庫に関する考察
- ・ラウンダオメーターの疑問
- ・サンヨーインダストリーを見て

〔新型コロナウイルスとクリーニング〕

・・・前略・・・新型コロナウイルスが衣服から伝播するとは言われていません。問題は飛沫感染です。

私達が考えるべきことは二つです。

- ・クリーニングはウイルス対策として有効か？

クリーニングの処置という観点から見れば、ドライクリーニングの洗浄は、付着した汚れの除去には大変力があります。多くの汚れと一緒にウイルスも除洗されると考えられます。また、溶剤乾燥工程では、60～80℃の熱風で処理されますので、ウイルス除去効果は上がると考えられます。

ランドリーは洗浄力が強いので除去出来ると考えられます。ワイシャツ、白物は漂白という行為でさらに強力な効果が重なります。

さらに、仕上時にはドライで、105℃以上で、ランドリーで150℃以上の熱で処理されますので、ウイルスの活性は無いと考えられます。

・・・以下略・・・

ニュース・情報（最近のニュース）

- ・人を評価する
- ・バイオマスって
- ・突破石
- ・ここが不満なのⅠ、Ⅱ
- ・マスクの洗い方
- ・Sneakers&Jeans

〔人を評価する〕

テレビで、イタリア・クレモナの病院の屋上で、医療従事者への感謝と、患者さんたちが再び音楽が楽しめる日が来るようにとバイオリンが演奏される場面を紹介しています。特に、このバイオリニストが日本人だということが評判を呼んでいるようです。



いつも思うのですが、このような素晴らしい場面を紹介するのは当然のこととして、これを企画、立案・実行された方が紹介されることはほとんどありません。

何故なのでしょう、いつも疑問に思うのです。私達は、このようなアイデア、計画、実行をされた方々のことを知り、どのように実現されたかを学ぶべきだと思うのです。

（横山玲奈さん）

・・・以下略・・・